

# HPVワクチン薬害東京訴訟 原告本人尋問・報告集会のお知らせ

HPVワクチン接種後に、全身疼痛やけいれん・記憶障害など多様な症状の訴えが聞かれるようになりました。被害者たちは、被害救済を求めてさまざまな活動をし、国及び製薬企業2社に対して全面解決要求書を提出しました。しかし、両者とも真摯な対策・対応をとることをせずに10年以上たった現在でも、治療法が分からないまま、多くの被害者が苦しんでいます。

2016年7月に全国4地裁（東京・名古屋・大阪・福岡）で一斉提訴した裁判は、今、原告本人尋問の段階に来ております。今回の期日では、原告33番さんと43番さんが法廷に立ち、ご自身の被害を語ります。

ぜひ、傍聴席から原告の後押しをお願いいたします。

**日時**

**令和6年5月15日（水）**

**時間**

**9時10分～16時30分頃**

**場所**

**東京地方裁判所103号法廷**

**法廷外企画：日比谷図書文化館 セミナールームA**

**報告集会：ビジョンセンター有楽町306号室**

## スケジュール

9：10～9：20	裁判所前リレートーク
9：30	傍聴券抽選締切り
10：00～	33番尋問@東京地裁103号法廷
13：15～	43番尋問@東京地裁103号法廷 (10:30～12:00 法廷外企画)
期日終了後	報告集会(15:30～の見込み)

声優になることを目指していた33番さんは、ガーダシルを3回接種した後に、強い股関節の痛みや睡眠障害、意識障害、記憶障害、頭痛や腹痛等の複数の症状に悩まされました。

しかし、学校の先生にはこれらの症状を信じてもらえず、中高一貫校の内部進学を諦めざるを得ませんでした。

被告からの反対尋問を乗り越えるためにも、ぜひ、傍聴席からの応援をお願いします。

お問合せ→HPVワクチン薬害訴訟東京弁護団事務局

TEL : 03-6268-9550 WEB : <https://www.hpv-yakugai.net/>

メール : <https://form.maildeliver.jp/fm/mailUserExt/showRegisterForm?gpid=rPHH7O8VRT9SVoRovSLXd>